

WEEKLY REPORT



中津川 RC 合同例会

中津川センター RC

本日の例会プログラム : パルティールAI

- 【例会】 進行：中津川センターRC
- 12:30～13:00 佐古和也幹事
1. 開会点鐘 中津川センターRC 鷹見幸久会長
 2. 国歌「君が代」斉唱・Rソング「奉仕の理想」斉唱
 3. 会長の時間 中津川センターRC 鷹見幸久会長
中津川RC 長野和夫会長
 4. 岐阜東濃グループ 吉村敏博ガバナー補佐 挨拶
 5. 出席報告、委員会報告、幹事報告
 6. スマイルボックス/ニコボックス発表
 7. 各クラブ新入会員の紹介 各クラブ幹事
 8. 閉会点鐘 中津川センターRC 鷹見幸久会長

会長の時間

2020-2021年

第63期 中津川ロータリークラブ

会長 **長野 和夫**

『俳句・短歌・旋頭歌・仏足跡歌』



本日は会長の時間に中津川宿の偉人が好んで学んだといわれる、俳句や和歌について調べたところを紹介させていただきます。

「俳句」俳句は原則的に五七五の十七音の中に、季語を入れた短い定型詩のことをいう。芭蕉「古池や かわづ飛び込む 水の音」かわづが春の季語となる。季語を入れない俳句もあり、自由律俳句も俳句として認められています。

外国語でも俳句はつくられているが、季節感や五七五の切れや短さにならないため、日本独自の文化ととらえたほうが良いでしょうか。世界最短の定型詩の一つとされています。貴族の文化であった連歌（最初の人が五七五発句次の人が七七 さらに別の人が五七五と付ける=付け句の最初の発句の五七五が単独で作られるようになったものが俳句の源だといわれています。

川柳は、同じ五七五でも季語にとらわれず庶民が日常使うわかりやすい滑稽さや、世相を風刺したり、茶化したりにして付け句を単独化したものとされています。「芭蕉翁ぼちゃんといふと立ち止まり」「古池やかわづ飛び込み平泳ぎ」

「短歌」短歌は五七五七七の五句三十一音で一首をなす和歌の代表的な形式により作られる詩です。心がうごかされた出来事や景色などを、決められた三十一音の短い言葉で表す季語を必要としない詩。和歌を詠む上での技法の主なものに次の詞があります。

「枕詞」=あおによし→奈良 ちはやぶる→神 ひさかたの→光・雲 古事記などに見る古い技法で五音が多い。(わたの原 漕ぎ出でて見れば ひさかたの雲にまがう沖つ白波)前関白太政大臣法性寺入道(藤原忠通)

「序詞」=ほぼ枕詞と同じで五音の制限がなく、オリジナリティを出しやすい。

(あしびきの山鳥の尾のしだり尾のながながし夜を一人かも寝ん) 柿本人麻呂

「掛詞」=(おほえやま いくの (行く野、生野) のみちのとほければ まだふみ (踏む、文))もみず あまのはしだて) 和泉式部の娘小式部内侍

短歌には、貴族の遊びとしての古歌と現代かなづかいの現代歌がある。



(百人一首 小倉百人一首 札の写真より)

「旋頭歌」旋頭歌は奈良時代に見られる和歌の一形式で古事記、日本書紀、万葉集に見られる。五七七五七七 五七七五七七と2回繰り返す6句から成る。頭を旋らすという意味で、下3句が上3句と同じ句を繰り返すことから旋頭歌といわれる。万葉集に62首、記紀歌謡に4首ある。

「仏足跡歌」五七五七七の6句から成り、万葉仮名で記録された最古の国語文。奈良の薬師寺に伝わる奈良時代の歌碑で、釈迦の足跡を礼拝し、釈迦の功德などを詠んだ和歌21首から成る。

仏像が彫られる前の釈迦の象徴として崇拝されたといわれる。仏足石と仏足跡歌碑から成り、日本に残っている仏足石は107個とあるが、江戸時代から昭和の初めに製作されたものが多数。古くから歌われている日本独自の詩は、以上の四種類に区分されています。